

## 「定住自立圏」地域創富力高度化調査事業 委託先候補一覧

(千円)

番号	委託先候補	提案概要	委託予定額
1	小樽市（北海道）	圏域内の北海道を代表する農水産物の食資源と自然や歴史・文化資産を活用した観光や長期滞在等の交流人口の拡大による圏域の活性化を図る。具体的には、①農商工連携及び6次産業化推進事業（生産者と異業種の連携の取組）、②移住促進事業（長期滞在・定住体験から移住へ）、③広域観光プロモーション事業（「食」「景観」「歴史・文化遺産」の活用による広域観光の推進）を実施する。	8,000
2	室蘭市（北海道）	食材豊富な西胆振圏域に潜在する希少食材を専門的な見地から、調理法の研究やPRにより新たな付加価値を掘り起こし、食材ブランドの確立と、流通システムの構築を検討する。また地域の主要産業である観光との結び付けや地域内循環経済のモデルを確立する。	8,000
3	弘前市（青森県）	弘前圏域の特性を活かした産業と雇用を創出していくため、桃をテーマとした地域ブランド化と農商工連携・6次産業化の促進に両輪で取り組み、地域に資金が循環する食産業育成モデル事業を実施する。	8,000
4	八戸市（青森県）	八戸市において南部文化が生み出した各団体の豊かな「食」と「芸能」の祭典を歴史的建造物が残る中心街を舞台に開催する。また、八戸市・各団体の地へ足を運ぶことができるモニターツアーを実施し、中心街や歴史的建造物を活かした旅行商品化の可能性を探る。	6,000
5	湯沢市（秋田県）	当圏域における稲作には、通常の機械乾燥ではない昔ながらの自然乾燥米が根強く残っており、環境にやさしい良食味・高品質米として、米卸業者のみならずエンドユーザーからも高い評価を得ているが、生産者の高齢化、後継者不足等により、生産量が年々減少している。飽食の時代と言われて久しい昨今、需要と供給の逆ミスマッチを解消するための手法として、自然乾燥作業専門組織（自然乾燥増やし隊（仮称））に端を発する「米づくりの独創的実証モデルによる地域農業活性化プロジェクト」を実施する。	5,626
6	飯田市（長野県）	当地域のブランド化戦略は歴史的・文化的背景やそこに生きる人々を総体的に資源とし、地域の多様性をより豊かにし、地域へのロイヤリティを育むことを目的として行われてきているが、マーケティング力や生産体制等に弱点を持っており、「南信州」ブランドが確立されているとはいえない。差別化をより確実なものとし、地域の自立や持続可能につながる「南信州」ブランドを確立させるため、①市田柿ブランド化農業資産マッチング等調査、②南信州茶の再興戦略調査、③地域認証基準（地域総体のブランド化）のモデル開発を実施する。	8,000

7	美濃加茂市（岐阜県）	<p>圏域内で増加するイノシシを地域資源として捉え、イノシシを活用した特産品を開発し、新たな食文化を構築し、圏外からの誘客と圏内の活性化、多文化共生を目的とした以下の事業を実施する。</p> <p>1 イノシシの肉を使った特産品を開発することにより、イノシシの付加価値を高め、有害鳥獣の駆除が促進されるように調査・実証実験を実施する事業。</p> <p>2 在住外国人がつくる地域特産品を活用した母国料理をメニューの中心にしたビュッフェスタイルの多文化共生レストランをオープンするため、レストラン開店に必要な事項を整理する。</p>	4, 9 6 3
8	山口市（山口県）	<p>栄養価が高く、美味しく、保存できる乾物は、日本や山口の食文化を育んできた。地域の伝統的な乾物、西洋や東洋の長寿や健康を支えてきた乾物等を研究し、農山漁村の地域資源（農林水産物）を活用した、現代の乾燥食品（乾物）の商品開発等に取り組む。県内随一の温泉宿泊地（湯田温泉）や飲食・商店機能、日本トップレベルの地元食品乾燥機メーカー、大学、農林水産業の技術センター等が連携し、「KAN-BUTU（乾物）」による圏域「食」のブランド確立、情報発信、所得向上、雇用創出効果を目指す。</p>	8, 0 0 0
9	今治市（愛媛県）	<p>沖縄の「かりゆし」、倉敷の「ジーンズ」、新潟の「Tシャツ」等のご当地ファッションやB級グルメ選手権等のご当地グルメが地域経済に大きく貢献している現状を踏まえ、従来、パリや東京発であったファッションを今治から発信し、地域の繊維産業やアパレル産業の活性化を図るとともに、「ご当地ファッション選手権」（仮称）等のイベント化を図り、地域雇用の創出や産業振興を推進する。</p>	7, 0 0 0
10	天草市（熊本県）	<p>天草市は、豊富な農林水産物を有する一方で、それらの生産の担い手が減少している。このような状況において、人口定住のために必要な生活機能の確保を図るため、農業、水産業、観光産業において、産業振興や雇用創出につながる6次産業化を推進することとしたい。そのため、販路拡大等による天草ブランドの確立と担い手育成確保等に焦点をあて、調査・研究を実施する。</p>	2, 3 0 0
11	都城市（宮崎県）	<p>以下の調査等を実施し、圏域内の農林漁業者や企業等に新商品開発や販路開拓、加工のための技術等の情報を提供するほか、農林水産物の高付加価値化及び農商工連携を圏域全域で促進し、企業誘致を実現することにより、圏域の活性化と持続可能な農林水産業の振興を図る。</p> <p>①農林漁業者及び食品関連企業のデータ収集、分析及びヒアリング調査</p> <p>②農林水産業の基礎データ、遊休施設等のデータを加えた総合的なデータの蓄積</p>	6, 0 0 0
12	薩摩川内市（鹿児島県）	<p>自然、歴史、文化、食、産業等の地域資源を活用した有料の体験型交流プログラムを市民・事業者等から募集し、ひとつのパッケージにまとめ、「きゃんぱく（正式名称：薩摩川内スピリッツ・きやんせ博覧会）」として、平成24年2月上旬から3月中旬まで1カ半月程度開催する。「きゃんぱく」を市内外に情報発信し、市外からの誘客を図るのはもちろんのこと、市民が市内各地を行き来し交流体験することで、ヒト・モノ・カネが地域を循環し、域内の経済の活性化を図ることを目的とする。</p>	8, 0 0 0